



スタッフのつぶやき

シスポートのスタッフが、読者の皆様に一言お話しさせていただくコーナーです。

いつもご愛読ありがとうございます。原田 @ 開発部です。

前回（6月）のスタッフのつぶやきで「LIFE SHIFT」について「100年生きることを前提とした人生ではマルチステージの人生になるとかなんとか… 80歳まで働くような健康な身体を維持することが大前提です」と書かせて頂きました。

先日、会社の健康診断があったので早速健康な身体を維持するために自腹でオプション検査を追加しました。

とりあえず心電図検査に毎年引っかかるので心臓エコー検査と50才目前なので前立腺の検査をチョイス。

いつもなら最初に尿検査の紙コップを渡されるのですが視力検査やレントゲンが終わっても一向にその気配がありません。

尿検査があるのが分かっているので検査直前のトイレは我慢しており尿意と戦うのに必死で聴力検査も集中できません。

何気に自分の検査票を見ると尿検査は前立腺検査後と手書きメモされているではありませんか。

結局最後の前立腺検査まで2時間耐えるはめになりました。健康な身体を維持するのも大変です。

開発部 原田剛史



IT雑情報

【Windows10のバージョンアップ】

このコーナーではITに関わるいろいろな情報を届けします。

いよいよ、windows7のサポート終了（2020年1月14日）が近づいてきましたね。

まだwindows7をお使いのお客様は、弊社までご相談ください。

さて、windows10ですが、年2回大きなバージョンアップが行われています。セキュリティ更新、機能追加などが行われて、使い勝手が改善されています。そして、同じwindows10でも、バージョン毎にサポート期限が設定されています。最新のバージョンは1903で、そのサービス終了は2020年12月8日だそうです。

※上記で最新バージョンは1903と記しましたが、その後、1909がリリースされました。

まず、お使いのバージョンを確認して下さい。

PCによっては、1903がインストール待ちになっていたり、既に1909にバージョンアップされていたりするようですが、この機会に、お使いのwindows10のバージョンをご確認ください。

古いバージョンでお使いのお客様は、バージョンアップを行って下さい。

<バージョン確認方法>

[スタート]ボタン を選択し、[設定] を選択します。
[設定]で[システム]→[バージョン情報]の順に選択します。

<バージョンアップ方法>

[スタート]ボタン を選択し、[設定] を選択します。
[更新とセキュリティ]を選択しWindows Updateを開く

Windows Update

利用可能な更新プログラム
最終チェック日時: 今日、17:10

更新プログラムのチェック

「今すぐダウンロードしてインストールする」をクリックして下さい

オプションの更新プログラムがあります

・Windows 10、バージョン 1909 の機能更新プログラム

今すぐダウンロードしてインストールする

TOPICS

本誌は発刊からまる12年が経ちました

このQ-infoは2008年1月に第1号を発行しました。それからちょうど12年が経ちました。（本号が第144号です）
読者訪問のコーナーは2010年2月から始まりました。今回が119回目ですが2回ご登場いただいている会社様もありますので、ご登場いただいた会社様は110社になります。

Q-infoのバックナンバーはすべて当社のホームページからご覧いただけます。 <https://www.sysport.co.jp>

最新版はトップページの「お知らせ」コーナーに掲載していますが、その下の方に「Q-infoバックナンバー」というコーナーがあります。

さらに下の方にスクロールすると、Q-infoの各コーナー毎に呼び出せるリンクが貼っています。

お時間があれば一度ご覧になってみて下さい。



第119回

お伺いした会社
お話を伺つた方
会社の所在地
連絡先など
業務内容
URL

アプナップ株式会社
代表取締役 坂平 典生 様
〒612-8244 京都市伏見区横大路下三栖宮ノ後71番地2
TEL:075-612-8896 FAX:075-612-8897
廃棄物処理業
<https://www.upnapp.co.jp/>

今日は廃棄物処理業をなさっている㈱アプナップさんに坂平社長をお訪ねしました。古紙などの廃棄物処理をなさっているということくらいは知っていましたが、具体的なことはあまり知らなかつたので、まずはお仕事の内容をお聞きしました。

するといきなり「うちは専ら物の中の古紙を中心扱ってる……」「ちょっと待って下さい。その“もっぱらぶつ”ってなんですか？」と、極めて初步的な質問から始まりました。

専ら物とは再生利用を目的として回収される古紙、くず鉄、空き瓶などのガラス類、衣服などの繊維の4品目を

指すのだそうです。あとでネットで調べてみたら、『廃棄物処理法に「もっぱら再生利用の目的となる」と記載されていることからそう呼ばれている』のだそうです。その専ら物の中では古紙以外のものも少し扱っておられますが、坂平社長基本的には古紙を中心に扱っておられます。具体的には古紙を回収して分類し、それぞれ四角く固めて製紙メーカーに販売するということをなさっています。

古紙のリサイクルは古新聞の回収がルーツのようですが、その歴史は古く昭和になってから急成長したそうです。



現在の業界動向をお聞きしてみると、紙そのものの消費が減ってきてているのだそうです。確かに新聞を取っているところは減ってきてていますし、雑誌等もネットに取って代わられつつあります。しかし一方では通販の普及で段ボールの消費は増えてきており、紙の消費量減少に少しブレーキが掛かったようです。

そんな中で、同社にとっての朗報はプラスチック製品の使用削減の動きです。プラごみが社会問題化してきて、コップやトレーなどに紙が使われ出しました。ストローも紙製のものが現れたりしています。食品等が付着しているものはリサイクルの対象にはならないそうですが、紙製品の消費が増えるということは原料の紙パルプの需要が増えることであり、古紙のニーズが増えることにつながります。



トラックスケール

2016年9月、京都中小企業家同友会北地域会が主催してハイアットリージェンシー京都にて『ワンテーブル交流会』という内覧展示会が開催されました。その展示会に坂平社長がお越しになり当社のブースにお立ち寄りいただきました。「いま、金沢の会社が作ったリサイクル業向け販売管理システムを使ってるんやけどちょっと遠いのでサポートのレスポンスが悪くて…」とおっしゃいました。「うちは京田辺ですけど、金沢よりは近いですし（笑）」。ということで、後日、お伺いしてシステムの概要・ご要望をお聞きしました。

業界特有の仕様もありますが、トラックごと重さを量るトラックスケールとのデータ連動が必須とのことで、未経験の装置との接続にチャレンジ。なんとかデータ転送が出来ることを確認し、細かな仕様の打ち合わせもさせていただいて、翌 2017 年 9 月にご発注いただきました。そして、2018 年 2 月に無事に導入し現在元気に稼働しています。

廃棄された機密文書の取扱いもされることからプライバシーマークを取得して顧客に安心感を与え、環境に配慮した経営をしていることを示すために環境マネジメントシステム KES ステップ2も取得されました。単なる古紙回収ということだけではなく、顧客企業とともに持続可能な社会作りに努力されておられます。そんな強みをお持ちの同社ですが、さらに坂平社長に強みはなんですか?とお聞きしたらレスポンスの早さだとおっしゃいました。回収依頼があったら遅くとも翌日には回収に赴く。要らないものは一刻も早く持つていってもらいたいという顧客心理に応えるべく努力しているとおっしゃいます。

現在稼働中のシステムも今後は出先のドライバーとデータのやりとりがスマホで出来るようして、さらにレスポンスを早めたいとのご要望もお聞きしており、より強みを強くしていただくと共に、生産性向上、働き方改革に寄与出来るシステムに成長させるお手伝いをさせていただきたいと思っております。 (米田)



いっちょかみ

“一丁噏”が行く！

第134回：LINEとYahooの経営統合

LINE と Yahoo の経営統合のニュースに驚いた方も少なくなかったのではないか。最初は、え？ ホンマかいな？ と少々懐疑的な空気もありましたが、11/18 に LINE と Yahoo!Japan 親会社の Z ホールディングス (ZHD) の社長が記者会見するにいたって確信に変わったと同時に期待と不安が交錯したように思います。GAFA と呼ばれる巨大プラットフォーム企業への対抗勢力としての期待感と国内市場の独占への不安感ではないでしょうか。いずれも数値的にはまだまだの感は拭えないのですが、IT 業界に大きな一石を投じたことは間違いないでしょう。「1 番以外は嫌いです」と言ってはばからない孫正義さん。パッケージソフトの流通を目指してソフトバンクが誕生した頃、倉庫で走り回っていた孫さんを見ていた私は、あまりにもその後の違いの悔しさを超えて、心のどこかでエールを送りたいと思っているのかも知れません。（一丁噛）

編集後記

今年最後の月に突入しました。近年思うことですが、春と秋が短いように思いませんか？ついこの間まで暑い！と言っていたのに、もうコートなしでは出掛けられないようになってしまいました。いきなり冬がやってきたように感じてしまいます。ホントに月日が経つのが早いですね。このO-infoも初版から12年経ちました。いつもお愛読ありがとうございます。



坂平社長